

パークシティ南千里丘

No. 06-006-2010作成
まちづくり/新築
集合住宅

発注者	三井不動産レジデンシャル株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社熊谷組関西一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 熊谷組	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

省エネルギーと環境に配慮した大規模集合住宅

プロジェクトの概要

本計画は、摂津市南千里丘地区において、阪急電鉄京都線の新駅設置と、その新駅前に「南千里まちづくり構想」等に基づき展開される、土地区画整理事業と一体化した計画の一面です。

1) 省エネ対策のモニタリングの実施

- 省エネ量がひと目で実感できる「エネルギー見える化システム」を開発し、各住戸に設置。

2) 周辺地域に配慮したオープンスペースの創出

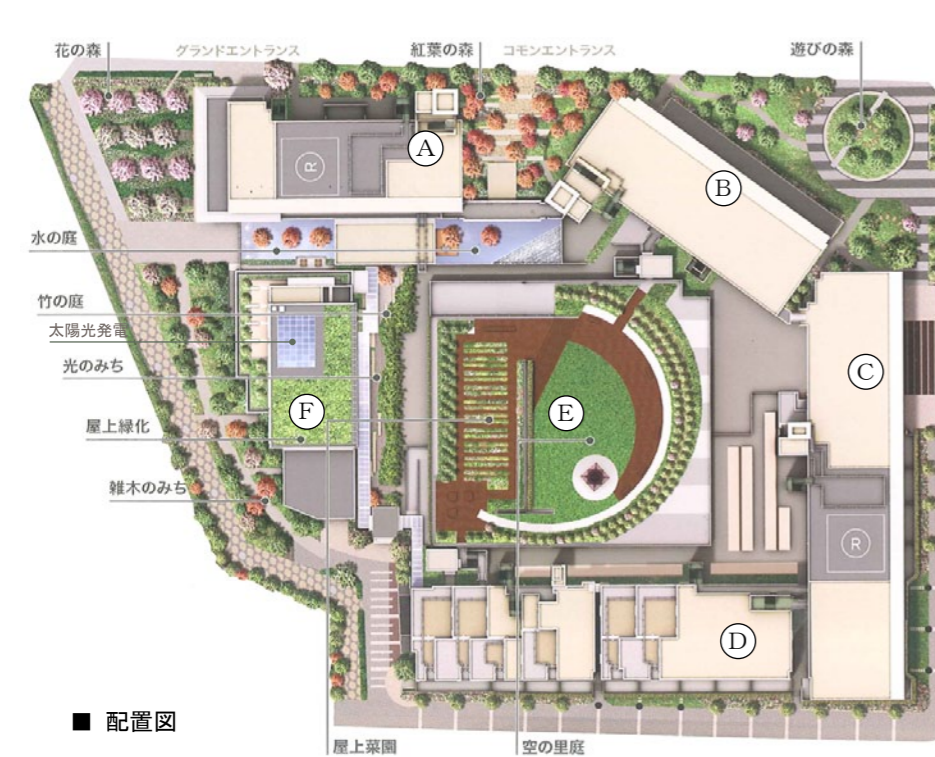
- 多様な緑地帯(緑化率25%)や広場等により、駅前広場に面し地域に開かれたコミュニティスペースに相応しいオープンスペースの創出。

3) 環境配慮デザイン

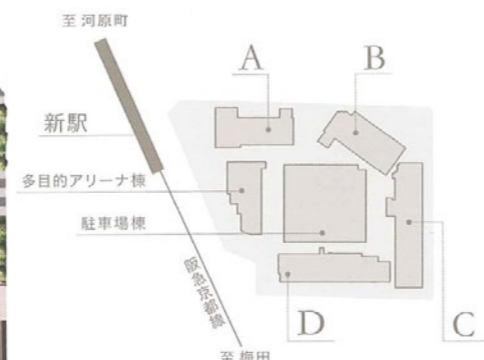
- 「太陽光発電システム」を導入。
- 保水性に優れた「打ち水ブロック」の採用。
- 「雨水再利用」で自然の恵みを有効活用。
- 「屋上&壁面緑化」「高反射性塗装」によるヒートアイランド現象の抑制。



■ 鳥瞰図



■ 配置図

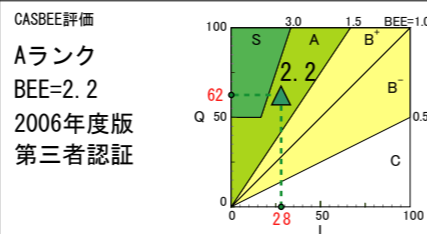


■ 住棟配置

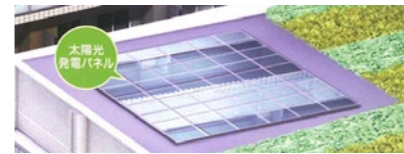
- A : 住棟
- B : 住棟
- C : 住棟
- D : 住棟
- E : 駐車場棟
- F : 多目的アリーナ棟

建物データ

所在地	大阪府摂津市
竣工年	2011年
敷地面積	14,550m ²
延床面積	54,347m ²
構造	RC造
階数	地上20階



■ 「太陽光発電システム」を導入
多目的アリーナ棟の屋上に太陽光発電パネルを設置。発電した電気は共用部の照明などに有効利用。(多目的アリーナ使用電力量の約1年分に相当)

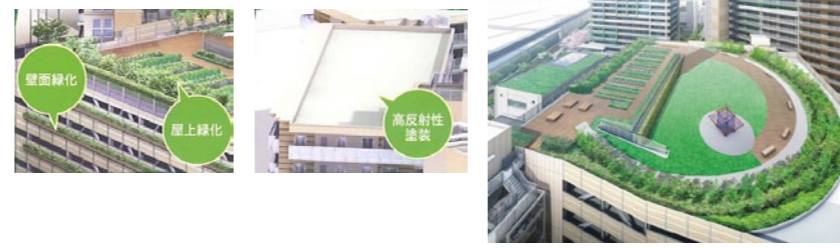


■ 地区計画に基づき

「25%を超える緑化率」を達成
大阪府の総合設計制度を活用し、緑に包まれたオープンスペース(公開空地)の確保。

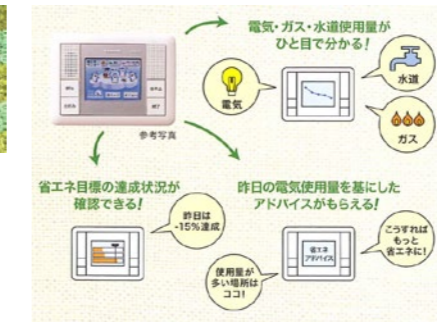
■ 「屋上&壁面緑化」「高反射性塗装」によるヒートアイランド現象の抑制

- 駐車場棟の屋上・外壁(一部)と多目的アリーナ棟の屋上を緑化。
- 住居棟屋上に太陽光を効率よく反射する高反射性の塗装を施し、建物や室内温度の上昇を抑え、ヒートアイランド現象を抑制。

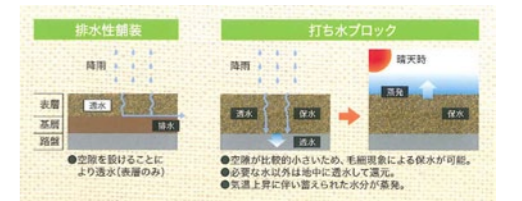


■ 駐車場棟 屋上菜園と空の里庭

■ 省エネルギー量が、ひと目で実感できる
「エネルギー見える化システム」
各家庭の電気・ガス・水道使用量とCO₂排出量が住戸内のモニターで確認できる。(モニターリングの実施)



■ 保水性に優れた「打ち水ブロック」の採用
雨が降るとブロック内部の隙間に保水、晴れて気温が上がると蓄えられた水分が蒸発し、路面温度の上昇を抑える。(ヒートアイランド現象の抑制)



■ 「雨水再利用」で自然の恵みを有効活用
降り注ぐ雨も大切な資源。雨水を地下ピット内に貯え、植栽の一部に散水をしたり「水の庭」の水盤・カスケードなどで再利用。



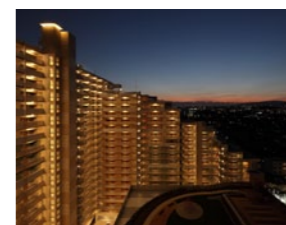
■ 全景(駅南広場より望む)



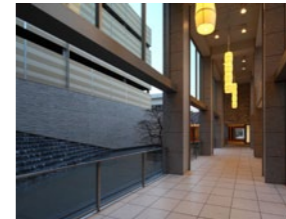
■ エントランス廻り



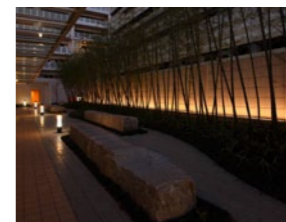
■ 花の森



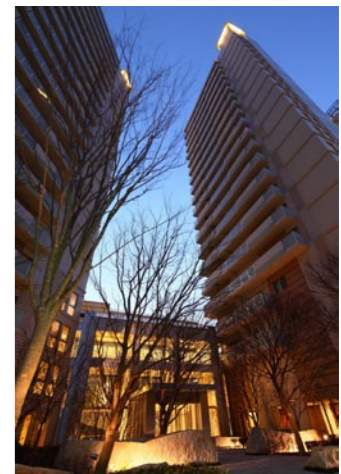
■ 空の里庭



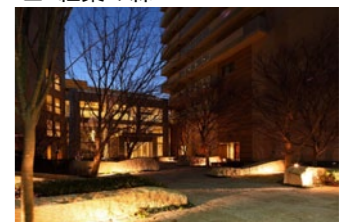
■ 水の庭



■ 光の道



■ 紅葉の森



■ 紅葉の森

設計担当者

統括: 澤邊繁克/建築: 檀上元伸、塩川 武/構造: 梅田正芳、設備/西川昭良、電気/榎垣龍壽

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(外構緑化、建築緑化)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮(空間提供、暑熱対策、敷地内温熱環境の改善)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制(高性能ガラス、庇の深い外装)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用(太陽光発電)
- LR2. 1. 水資源保護(雨水利用)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮(LCC02削減)
- LR3. 2. 地域環境への配慮(建築緑化、日陰の形成、保水性・浸水性材料、高反射塗装)